

令和時代は eスポーツが盛り上がる

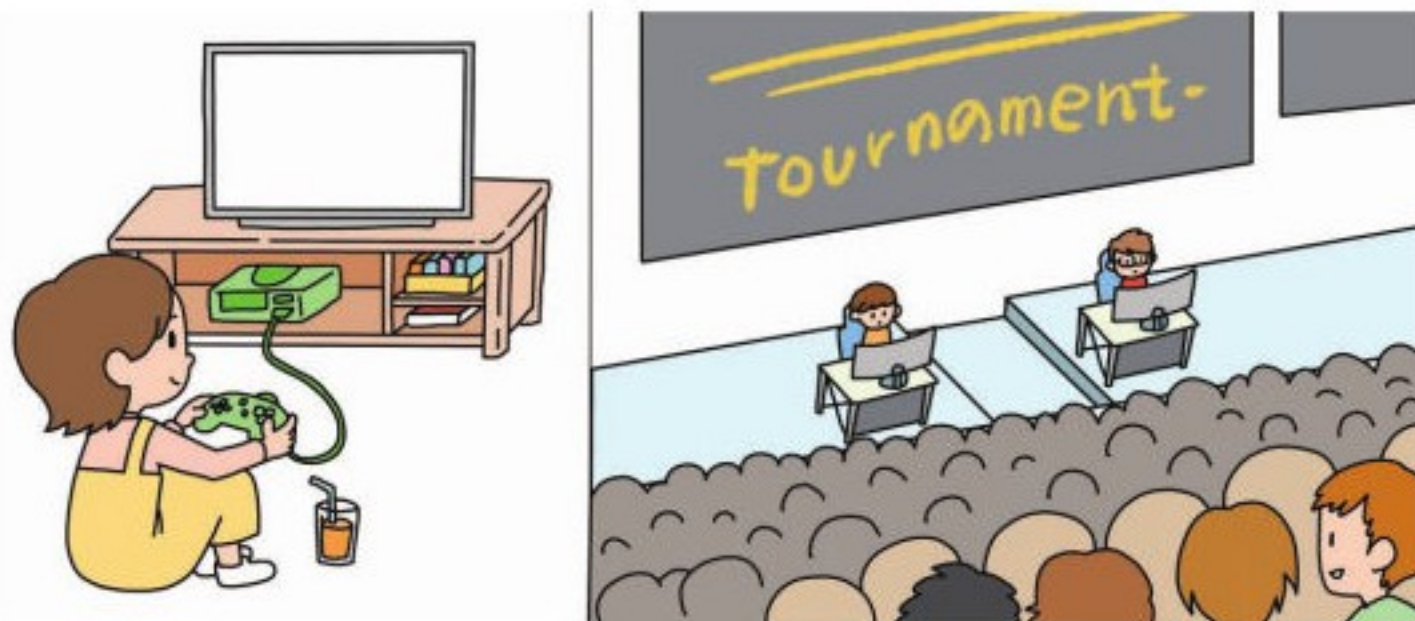
■ 古くて新しい『eスポーツ』

誰もが手軽に楽しむことのできる「テレビゲーム」を使って、個人やチームが得点を競ったり、勝敗を争ったりする競技のことを「eスポーツ」と呼びます。

「eスポーツ」という呼び方は、1999年頃に韓国ではじまったといわれていますが、以後「eスポーツ」は世界中に広がり、今ではいろいろな「eスポーツ」の世界大会が開催されるほどの人気になっているのです。

eスポーツの原点が「テレビゲーム」にあるとすれば、その歴史は比較的長いともいえますが、「テレビゲーム」が「スポーツ」として世界に認められ、「eスポーツ」という言葉が使われるようになったのは、このわずか20年程度のことです。

「eスポーツ」は、古くて新しいスポーツだといえることができるでしょう。

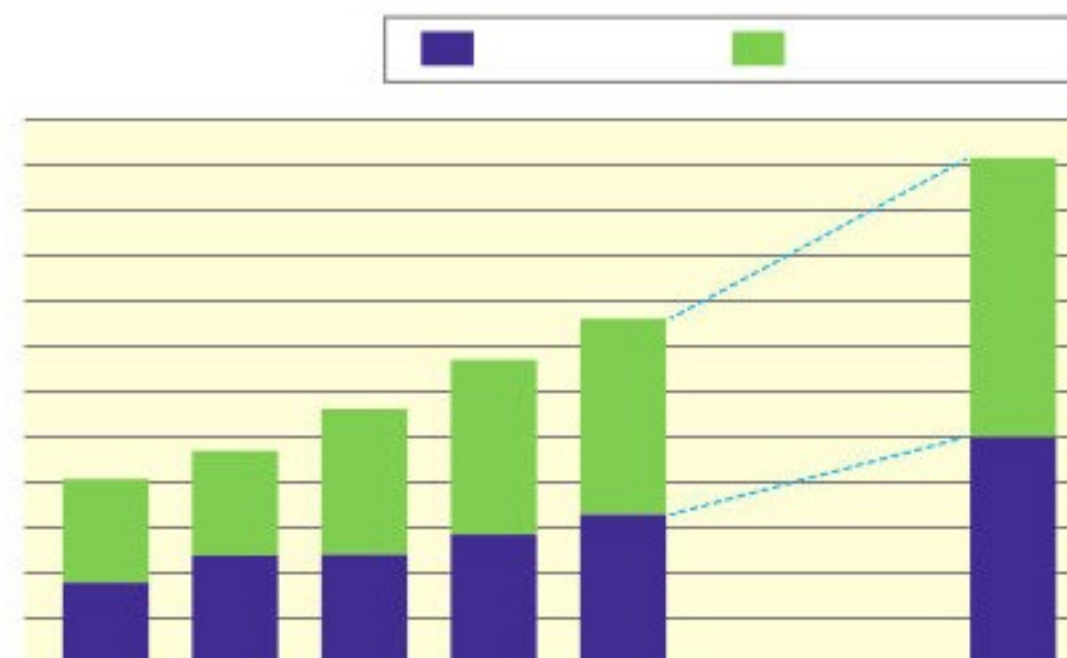


■ 短い期間で、人気が急上昇した『eスポーツ』!!

もともと「ビデオゲーム」自体が、世界中で人気でした。このため「eスポーツ」という新しい名称が使われるようになる前から、eスポーツのプレイヤーや、観戦して楽しむ人たち（視聴者）は一定数いました。

それが「eスポーツ」として一定の市民権を得たことで、ここ数年で人気が急上昇し、プレイヤーも、視聴者も増加傾向にあり、今後さらに増えるだろうといわれています。

■ eスポーツ視聴者数の推移



■ 『eスポーツ』の競技人口はテニスと同じくらい多い!!

ある調査によれば、『eスポーツ』を競技する人の数は、世界中で約1億人いると推計されています。

これは、テニスの競技人口とほぼ同じです。世界的に人気の高いバスケットボールやサッカーに比べれば、まだまだ少ないですが、日本では比較的人気の高い野球などに比べると、『eスポーツ』の競技人口のほうが多いぐらいなのです。

■ スポーツ別世界の競技人口



3

主なeスポーツ・イベントの概要

インテル・エクストリーム・マスターズ

「インテル・エクストリーム・マスターズ (IEM)」は、世界的な半導体メーカーであるインテル (Intel) と、世界規模のeスポーツ企業であるESL (Electronic Sports League) が共同で開催するeスポーツのイベントです。

2006年にはじまった「IEM」は、特定の競技種目 (ゲームタイトル) だけで開催されるのではなく、開催される年によって競技種目が異なります。また、開催地も毎年決まった場所 (国) で行うのではなく、いろいろな国で開催されます。

たとえば2018年には、韓国・平昌冬季オリンピックに合わせて、平昌で開催され、翌年の2019年には、オーストラリア・シドニーで開催されました。

ワールド・eスポーツ・ゲームズ

中国のIT企業であるアリババの関連会社であるアリスポーツが主催する、eスポーツ大会が「ワールド・eスポーツ・ゲームズ (World Electronic Sports

Games : WESG)」です。

2016年にはじまった「WESG」は、125の国と地域から6万人以上が参加する国際的なeスポーツ大会です。

「WESG」は、日本での公式予選大会も開催されており、日本予選公式サイトによれば、前回大会の賞金総額は約5.8億円 (550万米ドル) で、この大会をインターネットで視聴した人は4億人以上もいたとされています。

チャイナジョイ

「チャイナジョイ」は、もともとはゲームタイトルなどを扱う国際博覧会でしたが、eスポーツ人気の高まりとともに、さまざまなイベントなどが開催されるようになり、「チャイナジョイ・eスポーツコンテスト」というeスポーツの競技会イベントも開催されるようになったのです。

2004年にスタートした「チャイナジョイ」は、その年北京で開催され、2005年からは上海での開催が基本となっています。

「チャイナジョイ」が開催されるようになった2004年頃は、すでに中国国内のオンラインゲームの利用者が1,000万人

を超えているといわれるほどに、人気が急拡大している時期でもありました。その後もeスポーツをはじめとするオンラインゲームなどの利用者が増えるに伴って、「チャイナジョイ」の参加者も増加を続け、2018年に開催された「チャイナジョイ2018」では、来場者が約34万人を超えるほどの規模になっていました。

RAGEの主催大会

RAGE Shadowverse Pro League

Cyber Zとエイベックス・エンタテインメントが運営する「次世代型 esports

大会」であるRAGEが主催する「シャドウバース (Shadowverse)」のプロリーグであり、2018年から開催されています。1年間を通じてリーグ戦を戦い、上位の4チームがシーズンファイナル (トーナメント戦) を戦い、チャンピオンが決定します。

RAGE GBVS 2020 Summer

RAGEが開催する「グランブルーファンタジーヴァース」の公式大会です。こちらにも、「RAGE Shadowverse Pro League」同様に、日本を代表するeスポーツイベントです。

大会予選はオンラインで実施され、その後のセミファイナル、グランドファイナルがオフラインで開催されます。

2018-2019 WESG グランドファイナル

2019年3月、中国で「WESG2018-2019 グランドファイナル」が開催された。世界最大規模のこの大会のファイナルでは、64か国のプレーヤーが、技を競い合った。

